



廣部 真造 議員

### 地域公共交通の 充実について

**問** 高島市地域公共交通利便増進実施計画の再考が必要ではないか

**答** 必要に応じまして計画の見直しも行ってまいりたいと考えております

による路線の再編などを検討し、必要に応じまして「高島市地域公共交通利便増進実施計画」の見直しも行ってまいりたいと考えております。

**問** 公共交通の利用ニーズは朝夕に集中し、日中は多くない。日中は小さな車両に置き換えて、細い道に入っていく路線を新たに設定することなど、具体的に今後検討してもらえないか。

**答** 都市整備部長

まず地域の実情や運転士不足の解消に向けては、利用者の利用実態を分析したうえで対応してまいります。現行の路線の中で、路線やバスの大きさの変更などの検討も含めていこうとなると考えております。

**問** 地域ごとの実情やニーズに合わせ、運行方法と高島市地域公共交通利便増進実施計画の再考が必要ではないか。

**答** 都市整備部長

現在、市では、路線バス、コミュニティバス、市営バス、定時乗合タクシー、予約乗合タクシー、区域運行予約乗合タクシーにより市内全域をカバーし、運行をしております。

しかしながら、地域公共交通の現場では、運転士不足が全国的な課題となっており、運転士不足は更に深刻化しております。こうした状況は

本市でも同様であり、路線維持が困難な状況になりつつありますことから、継続的に公共交通を維持していくことを目的に「高島市地域公共交通利便増進実施計画」を策定したとご理解ください。



また、地域の実情の一例としてお示しされました自宅からバス停までの距離の問題につきましては、特に高齢者や障がいのある方にとって負担となっており、「バス停まで歩けない」、「バス停から重い荷物を持つて帰ることが困難である」といったお声があることも承知しております。

今後は、運行継続と利用者ニーズへの配慮を第一に、路線ごとの利用実態を分析したうえで、運行事業者とも協議をしながら、現行の運行方法を基本に効率的な運行手段

### その他の質問

・独居高齢者宅など介護福祉現場における多頭飼育課題に関する市の見解を伺う